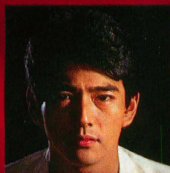


最後のバラは
スクリーン
暗闇で咲く。

TVと映画をつらぬく愛そして謎。これがメディアを超えたロマンティック・サスペンス。

PATIO パ・テ・オ



加勢大周 松雪泰子 保阪尚輝 鈴木京香 鶴見辰吾 菊池桃子

主題歌 = 今井美樹 (フォーライフレコード)

▼〔PART・1〕9月18日(金)夜9時フジテレビ系全国ネット(ビデオ発売10月21日)

▼〔PART・2〕10月23日(金)夜9時フジテレビ系全国ネット(ビデオ発売11月6日)

▼〔PART・3〕11月14日(土)全国松竹系一斉公開

製作/村上光一 奥山和由 企画/黒村一 堀口善一 エグゼクティブプロデューサー/河井真也 宅間秋史 阿部祐三 プロデューサー/飯塚正彦 久里朋介 原作/楠田泰之 吉本昌弘 監督/楠田泰之 脚本/吉本昌弘 音楽/ニッキー・ボフキンス(東芝EMI) 撮影/梶野直樹 照明/長田達也 録音/深田晃 美術/部谷京子 編集/菊池純一 製作/フジテレビジョン・松竹株式会社 企画制作/アベクカンパニー 製作協力/ライトスタッフカンパニー 配給/松竹株式会社

(解説)

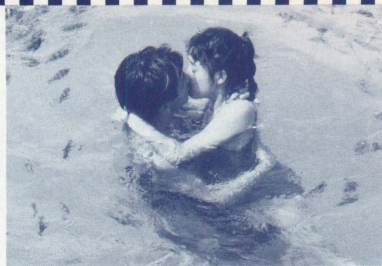
見る者の心を捉えて離さない幻の宝石——パテオの赤いバラ。その神秘的な輝きに魅了された人々の複雑な思惑…。『パ★テ★オ』は、ひとつの宝石をめぐる展開する、和製『ロマンシング・ストーン』とも言える、スリリングなサスペンス・ロマンである。

テレビ視聴率三冠王を行くフジテレビと、常にユニークな企画で邦画界に旋風を起こす松竹がドッキング。制作は『もう誰も愛さない』など、数々の爆発的ヒットを放ち「アベクドラマ」ブームを巻き起こした、アベクカンパニーが担当した。

今回、テレビというメディアと映画の長所を最大限に生かす画期的な試みがなされる。パートⅠ、Ⅱにあたる2本のスペシャルドラマをフジテレビで放送。クライマックスを迎えるパートⅢをロードショー公開。しかもそれぞれが1本のドラマとして完結するという、テレビ放送と劇場公開による“マルチミック”方式である。この日本映画史上初の試みは、今後の日本ショウビズ界に新しい一石を投じることになるだろう。

監督・脚本は『もう誰も愛さない』『あなただけ見えない』でトレンドドラマの流れを大きく変えた楠田泰之と吉本昌弘。スピーディな手法で若者の熱烈な支持を受ける、この2人が初めて映画でコンビを組む。

主演はこれが初共演の加勢大周と菊池桃子。松雪泰子、保阪尚輝、鈴木京香、鶴見辰吾ら共演陣がガッチリ脇を固める。今までの邦画にはない、本格的エンタテインメントの登場だ。



PATIO

パ・テ・オ



(物語)

南の島での幸せな結婚式を目の前にしていた真理(菊池桃子)と信一(保阪尚輝)。幸せな一夜を過ごし、朝目覚めると信一の姿が……。

警察、日本大使館の協力を得て、ジャカルタで必死の捜索を始めようとする真理は、高校時代のクラスメイトだった優(加勢大周)と偶然出会う。そして二人は協力して信一の

捜索を始めるが、その二人の前に信一そっくりな男が現われる。その男を追って成田まで来るが、もう一步の所で見失ってしまう。

日本に戻った二人は、警察から信一の保険金目当ての共犯者の疑いをかけられ、思うように身動きがとれない。そんな折、真理の所に“木田信一は死んでいるんです。彼と関わるのはもうやめなさい”と男の声で不審な電話がかかり、優の方は何者かに襲われ深傷を負ってしまった。

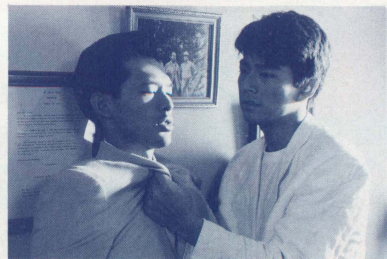
はたして信一は本当に死んでしまったのだろうか、それとも……。

そんな時、信一にそっくりな吉田茂という男と、その婚約者だと言うファッションデザイナーの永井あゆみ(鈴木京香)が現れ、ますます謎が深まっていった。すべては『パテオの赤いバラ』と呼ばれる、神秘的な謎の宝石を中心に動いていた。信一はこのパテオに関係があるらしい……。

真理と優は信一の行方を追ひ、香港、シドニー、インドネシアへと危険な旅に出る。裏では、政府、大使館の人間、そしてマフィアまでが『パテオ』を狙って不審な動きを見せていた。誰もが一目見ただけで魅了されるといふ『パテオの赤いバラ』に、どんな秘密がかくされているのだろうか……。

惑わせる……迷わせる……深紅の赤いバラ、パテオ。

エピソードのカギはパテオに……。



11月14日(土)より大公開!
特別鑑賞券(一般¥1400/学生¥1200)発売中

紀伊國屋ビルうら

新宿松竹

03(3356)4881